

事業報告書

平成30年度

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

1. 法人の概要

(1) 名 称 学校法人 岡崎学園 【昭和21年3月1日法人設立】

(2) 住所等 大阪府大阪市天王寺区城南寺町7番19号
電話番号 06-6761-3692

(3) 設置する学校
学校の名称：東朋高等専修学校 【昭和21年4月1日設置】
：大阪自動車整備専門学校 【平成11年3月23日設置】

(4) 課程、学科、修業年限及び定員、学生数の状況

東朋高等専修学校

課 程	学 科	修業年限	入学定員	総定員	備 考
商 業 実 務 専 門 課 程	総合キャリア専攻科	1年	40名	40名	昼 間
総合ビジネス 高 等 課 程	普 通 科	3年	120名	360名	昼 間
	総合教育学科	3年	40名	120名	昼 間

※平成29年4月より商業実務専門課程総合キャリア専攻科は募集を停止。

大阪自動車整備専門学校

課 程	学 科	修業年限	入学定員	総定員	備 考
工 業 専 門 課 程	自 動 車 整 備 科	2年	120名	240名	昼 間

(5) 理事長の氏名 岡崎 顯正
理事 5人、監事 2人、評議員 11人

(6) 教職員の状況 (30.5.1現在)

東朋高等専修学校

教員 専任 34人 兼任 18人
職員 専任 9人 合計 61人

大阪自動車整備専門学校

教員 専任 11人 兼任 13人
職員 専任 9人 合計 33人

2. 事業の概要

東朋高等専修学校

総合ビジネス高等課程	普通科・総合教育学科	修業年限3年
	募集人員	160名(男・女)
商業実務専門課程	総合キャリア専攻科	修業年限1年
	募集人員	40名(男・女)

(1) 教育方針

本校は宗教活動の一環として設立。昭和21年創立以来72年目を迎える歴史と伝統を持ちます。法然上人の仏教精神を教育の基本として、仏・法・僧の三宝を敬い、校則を守り、自己を磨き、人として生まれてきた有難さを感謝し、有意義な人生をおくり、世のためにつくす人材を育成することを建学の精神としています。

知識偏重の教育ではなく、心豊かな人間形成で個性を生かし、目的理想に精進する努力型の人間育成につとめております。特に校則にもある、知識・技術・徳育をモットーとし、実行力のある人材の養成を教育方針におき、社会にでても通用する(役立つ)人材育成に重点をおいています。

(2) 教育計画

① 普通科

- 4月／ 入学式、オリエンテーション、健康診断、ネイリスト技能検定
- 5月／ 学年行事、修学旅行、中間試験、電卓計算能力検定
スポーツレクリエーション
- 6月／ 避難訓練、期末試験、毛筆硬筆書写検定、文書処理検定
- 7月／ 総合学習、保護者懇談、各検定試験、ラフティングキャンプ
高体連全国大会
- 8月／ クラブ活動、キャンプ、しまなみ海道サイクリング、介護職員初任者研修
オープンスクール、防災研修
- 9月／ PC検定、オープンスクール、スポーツテスト、工業検定
- 10月／ 校外学習、講演会、学校説明会、中間試験、各検定試験
オープンスクール
- 11月／ 文化祭、期末試験、オープンスクール
- 12月／ 総合学習、各検定試験、スキー実習、保護者懇談、オープンスクール
- 1月／ オープンスクール、卒業考査、推薦入試、各検定試験
- 2月／ 学年末考査、マラソン大会、一般入試、各検定試験
- 3月／ 創立記念日、卒業式、三者懇談、調整入試、各検定試験、進路説明会

② 総合教育学科

- 4月／ 入学式、オリエンテーション、健康診断、三者懇談
- 5月／ 学年行事、中間試験、スポーツレクリエーション
- 6月／ 農業体験、防災体験、検定試験
- 7月／ 三者懇談、期末試験、検定試験
全国高等専修学校体育大会、ラフティングキャンプ
- 8月／ クラブ活動、海キャンプ、オープンスクール、しまなみ海道サイクリング
山キャンプ
- 9月／ 体験入学、スポーツテスト
- 10月／ 農業体験、中間試験、学校説明会、講演会、校外学習、オープンスクール
修学旅行
- 11月／ 文化祭、オープンスクール、各検定試験、期末試験、学校生活発表会
- 12月／ スキー実習、三者懇談、推薦入試、クリスマス会、各検定試験
- 1月／ 卒業考査、各検定試験、ボーリング大会、内部進学説明会
- 2月／ マラソン大会、学年末考査、一般入試、一日研修旅行、各検定試験
- 3月／ 創立記念日、卒業式、三者懇談、進路説明会、レクリエーション

(3) 納付金

課程名	学科名	学年	入学検定料	入学金	教育充実費	授業料	実習費	行事費	施設費	合計
総合ビジネス高等課程	普通科	1年	10,000	100,000	—	576,000	—	—	—	686,000
		2年	—	—	—	576,000	—	—	—	576,000
		3年	—	—	—	576,000	—	—	—	576,000
		合計	10,000	100,000	—	1,728,000	—	—	—	1,838,000
	総合教育学科	1年	10,000	100,000	120,000	576,000	—	—	—	806,000
		2年	—	—	—	576,000	—	—	—	576,000
		3年	—	—	—	576,000	—	—	—	576,000
合計		10,000	100,000	120,000	1,728,000	—	—	—	1,958,000	
商業実務専門課程	総合キャリア専攻科	1年	10,000	150,000	—	420,000	150,000	20,000	100,000	850,000
		合計	10,000	150,000	—	420,000	150,000	20,000	100,000	850,000

- ・推薦入学者は入学金の軽減があります。
- ・専門課程に進学する生徒は、専門課程入学金が減免されます。

その他の費用	① 制服（夏服・冬服）	77,000円（任意）
	② 体操服、上靴（体育館シューズ兼）	17,900円
	③ 教科書等学用品	（普）13,000円
		（総）8,000円
		（キヤ）14,000円

(4) 施設設備関係

本年度は、学園の教育内容の充実と経営基盤安定のために、39,000,000円で校地を取得した。また、エアコン、生徒用机・椅子などの教育研究用機器備品を1,135,974円で、さらには学校業務効率化のため学費管理システムを3,331,800円で取得した。

(5) 長期計画

生徒の安全と教育内容の充実を図るために長期にわたり施設設備の整備をはかってゆく。

大阪自動車整備専門学校

工業専門課程	自動車整備科（2級自動車整備士課程）
昼間部	2年制
募集人員	120名（男・女）

(1) 教育方針

大阪自動車整備専門学校

ライセンス時代と言われる今日、社会状況に即応できる実践的な教育をモットーに、「2級自動車整備士」の国家資格を取得する為の養成課程であり、「知識、技術、徳育」に育まれた人間性と、プロとしての誇りを持たせる教育を基本として、企業に高い評価を得るスペシャリストを育成することを目的とする。

(2) 教育計画

1 学年 分解・組立などの基礎技術について学ぶ

在学中に取得可能な資格	ガス溶接技能講習修了証
	アーク溶接技能講習修了証
	危険物取扱者 丙種・乙4資格
	低圧電気取扱者資格

2 学年 整備応用技術について学ぶ

在学中に取得可能な資格 自動車損害保険募集人資格
中古小型自動車査定士資格

卒 業 卒業時に与えられる称号 専門士（工業専門課程）の称号授与
卒業と同時に取得可能な資格

2 級ガソリン自動車整備士受験資格

2 級ジーゼル自動車整備士受験資格

2 級二輪自動車整備士受験資格

大学への編入学

4 月／ 入学式、オリエンテーション、低圧電気特別教育講習
健康診断、体験入学（以後毎月）

5 月／ スズキのセミナー、査定士講習、ハーレーのセミナー

6 月／ 前期中間学科・実習試験、ガス溶接講習／試験、査定士講習／試験、危険
物取扱者講習、工場見学（いすゞ）、マツダのセミナー、日差のセミナー

7 月／ 危険物取扱者資格試験、ダイハツのセミナー、マナー研修
鈴鹿、トヨタのセミナー

8 月／ 夏期休暇、サマースクール

9 月／ 前期期末学科・実習試験、校内技術大会、アーク溶接講習

10 月／ 後期中間実習、1 次入試、2 次入試、スズキのセミナー、八光のセミナー
損害保険講習

11 月／ 就職ガイダンス、合同企業セミナー、3 次入試、4 次入試
ダイハツのセミナー、ホンダのセミナー

12 月／ 後期中間学科試験、冬期休暇、5 次入試、いすゞのセミナー

1 月／ 6 次入試

2 月／ 後期期末学科試験、7 次入試

3 月／ 創立記念日、卒業式、2 級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）国家試験
2 級二輪自動車整備士国家試験、8 次入試、後期期末実習試験、9 次入試

(3) 納付金等

・学費

1 年 次				2 年 次					
区分	納期	前 期	後 期	1 年次半額	区分	納期	前 期	後 期	2 年次半額
		入学手続時	9 月末					3 月 末	
入学金		150,000	—	150,000	入学金		—	—	—
授業料		260,000	260,000	520,000	授業料		260,000	260,000	520,000
実習費		150,000	150,000	300,000	実習費		150,000	150,000	300,000
施設費		200,000	—	200,000	施設費		200,000	—	200,000
計		760,000	410,000	1,170,000	計		610,000	410,000	1,020,000

・学費以外の諸経費

1 年 次			2 年 次		
学 習 費	行 事 費	計	学 習 費	行 事 費	計
95,000	75,000	170,000	25,000	30,000	55,000
納期は入学手続時			納期は3月末（1年終了時）		

(4) 施設設備関係

本年度は教育内容の充実と経営基盤の安定のため、プロジェクター、パソコン、エアコンなどの教育研究用機器備品を1,170,956円で取得した。

(5) 長期計画

生徒の安全と教育内容の充実を図るために長期にわたり、施設設備の充実と整備をはかってゆく予定である。なお、今年度も特に職業教育の実務的授業実施をはかっていく。

キラナ保育園

本年度より、内閣府の主導のもと企業主導型の保育園として、キラナ保育園の開設・運営を行った。

(1) 保育方針

一人ひとりの個性を大切に、心身共に健やかでたくましく生きる力を育てる。

園児の人間性や能力を開花させ、発達させていくと同時に、健康で明るくたくましいこどもを育てることを保育方針としている。

(2) 年間行事

- ・身体測定、避難訓練（毎月）
- ・誕生日会
- ・プール遊び
- ・遠足
- ・クリスマス会、節分、ひな祭り
- ・内科検診、歯科検診

(3) 保育料

月曜日～金曜日	月額20,000円
土曜日	日額 3,000円
延長保育	1回 1,000円

(4) 施設設備関係

保育園開設に伴い改修工事等のため11,943,600円の支出を行った。

また、オゾン式保管庫などの管理用機器備品を517,930円で取得した。

(5) 長期計画

昨今の待機児童の増加により出産後の職場復帰が困難となってきた現状を踏まえ、学園運営の安定化を図り、また女性職員が安心して就業できる職場環境の整備を図っていく予定である。

東朋学園高等学校

令和2年度より、通信制高校である東朋学園高等学校を開設する。これに伴い、設計費用及び工事の一部として108,611,500円（建設仮勘定）の支出を行った。